

世界の景色から

ホンジュラス



ささやかな祝祭の味

にぎやかな呼び込みの声が行き交う中、軒先に吊り下げられた巨大な干し魚が、目に飛び込んできた。

「世界で最も危険な都市」。失業者があふれ、犯罪が横行するためそんな不名誉な別名を持つサン・ペドロ・スーラ市から約1時間半、カリブ海沿いのテラ市もまた、ビーチの美しさとは裏腹に、多くの人々が貧しさにあえいでいる。

彼らが高価な魚を口にする機会は少ない。それでも、一年に一度、謝肉祭の日には、干し魚をご馳走に、色とりどりの衣装で祝う。

干し魚は塩気が強いので、スープに入れて食べるのが一般的だ。不安定な暮らしの中で人々は精いっぱい陽気に生きている。ささやかな祝祭の味は、少し苦かった。

Photo by 及川 義明

1962年生まれ。(有)アールディーアイに2002年入社。園芸分野の開発コンサルタントとして06～08年と10～12年の2回にわたり、ホンジュラスのテラでラン栽培の指導に携わる。写真は2012年にテラの市場を散策していたときに撮影した一枚

投稿をお待ちしています▶mail@idj.co.jp